

施策 1 1 1

郷土の歴史・文化を継承し、発展させる

令和 8 年度 施策評価シート

基本目標	I 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政 策	110 伝統文化を継承、発展させ、新たな文化・芸術を創造する
施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる
施策の目標	すみだの歴史や文化に区民がふれることで、郷土に対する理解・愛着が深まり、さらに区民が将来にわたり本区の特色ある伝統文化を継承、発展させ、文化財が大切に保護されています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「伝統文化が保護、継承されている」と思う区民の割合（％）				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	77%
実績	71.6%	—	—	—	73.7%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	80%
実績	—	—	—	—	78.9%

指標名	「墨田区の歴史や文化を学んでいる」区民の割合（％）				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	39%
実績	24.1%	—	—	—	26.4%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	50%
実績	—	—	—	—	28.8%

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
墨田区の歴史や伝統文化を将来にわたり継承、発展させるため、今後も資料の収集・保存、展示、調査研究等の活動を積極的に展開していく必要があるが、区民、観光客を含む多くの人にそれらの魅力をいかに発信し本区の歴史や文化を身近に感じてもらうかが課題といえる。	R5	933,760
	R6	892,798
	R7	1,012,916

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	所有する文化財等を活用し、墨田の歴史・文化を区民に発信していくという点で一定の成果は得られている。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
○	（１）優先的に資源投入を図る
●	（２）現状維持とする
○	（３）現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	（４）資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
文化財の保護や保存、普及、活用に区が取り組むべき必要性は高く、これまでも調査研究の成果を展示や講座等の開催など様々な取組を行うことで、一定の成果を上げることができた。	
今後の具体的な方針	
区民が、すみだの歴史や文化にふれる機会を増やすことで郷土に対する理解や愛着が深まり、将来にわたり伝統文化を継承、発展させる。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	北斎ふるさと納税寄付キャンペーン経費	文化芸術振興課	548,065	8,692	556,757	現状維持
2	すみだ北斎美術館管理運営費	文化芸術振興課	225,014	4,346	229,360	現状維持
3	大江戸すみだ職人展開催経費	文化芸術振興課	1,500	2,608	4,108	現状維持
4	旧安田庭園再整備事業費	公園課	4,916	8,692	13,608	現状維持
5	文化財(埋蔵文化財含む)調査、普及、啓発事業	地域教育支援課	87,987	17,540	105,527	現状維持
6	すみだ郷土文化資料館事業	すみだ郷土文化資料館	43,524	14,011	57,535	現状維持
7	すみだ郷土文化資料館管理運営	すみだ郷土文化資料館	19,164	9,587	28,751	現状維持
8	立花大正民家園維持管理費	すみだ郷土文化資料館	8,552	8,718	17,270	現状維持

令和8年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	北斎ふるさと納税寄付キャンペーン経費					
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）	4514			
目 的	平成28年11月に開館したすみだ北斎美術館の適切な管理運営に努め、PR事業を始め、資料収集、寄付キャンペーンを実施し、すみだと北斎のPR及び関連事業の充実を図る。					
対 象 者	北斎及びすみだ北斎美術館へ関心がある層、本区へのふるさと納税による寄付を検討している方					
根拠法令 関連計画	墨田区北斎基金条例、墨田区北斎基金寄付金取扱要綱、墨田区文化観光基金条例、墨田区文化観光基金条例施行規則、墨田区文化観光基金寄付金取扱要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤職員3・株式会社トラストバンク外	
事業内容	すみだ北斎美術館の管理運営費、資料収集、北斎をテーマとしたアートプロジェクト経費及びすみだトリフォニーホールの大規模修繕などの音楽事業等の文化芸術関連事業へ充てることを目的に、寄付キャンペーンを実施している。ふるさと納税制度を活用して寄付を募集しており、地場産品や本区への観光誘致につながる返礼品を寄付者に送付している。					
経 過	開始年度	平成27年度			終了予定	
	平成27年度	インターネットによる寄付募集（北斎ふるさと納税）開始				
	平成28年度	目標寄付金額（5億円）の達成				
	平成29年度	墨田区文化観光基金への寄付受入開始				
	令和元年度	複数のふるさと納税サイトでの寄付募集開始（ふるさとチョイス、ふるなび、楽天、さとふる）				
	令和2年度	ふるさと納税受付サイトを追加（セゾンのふるさと納税、ふるさとプレミアム、auPAYふるさと納税）				
	令和5年度	寄付金の使途拡充				
	令和6年度	ふるさと納税受付サイトを追加（JRE MALLふるさと納税）				
	令和7年度	ふるさと納税受付サイトを追加（ANAのふるさと納税・マイナビふるさと納税）				
議会質問 の 状 況	■令和7年10月 決算特別委員会 （質問）体験型の返礼品を柱に寄付を伸ばすため、どのような工夫を行うのか。 （答弁）本区ならではのコト消費を返礼品に組み入れていくという方向性は非常に大事である。 現在、ふるさと納税の仲介サイトの中には鉄道系の会社が運営しているサイトがあり、電車という移動手段と区内のホテルへの宿泊を組み合わせたパッケージを掲載をしている。これは地方の方を墨田区に誘客し、区内観光やアクティビティを区内で体験をしていただくものであり、このような体験型の返礼品を今後も増やしていきたいと思っている。					
そ の 他 特記事項	令和8年度寄付目標額：5億円					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		462,612	503,532	504,801	493,754	574,999	250,000
A. 決算額（令和8年度は見込み）		399,876	449,531	489,789	480,916	548,065	250,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	1	1	1	1	1	1
一般財源		399,875	449,530	489,788	480,915	548,064	249,999
執行率（％）		86.44％	89.28％	97.03％	97.4％	95.32％	100％
B. 人コスト		8,796	8,179	8,512	9,154	8,692	
総事業費（A+B）		408,672	457,710	498,301	490,070	556,757	
予算書P（令和8年度）		P116 1－6		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	466,453	委託料	531,728	委託料	242,630
役務費	14,464	役務費	16,338	役務費	7,025
				需用費	338
				旅費	7
概 要		概 要		概 要	
ふるさと納税業務委託料及び決済手数料		ふるさと納税業務委託料及び決済手数料		ふるさと納税業務委託料及び決済手数料	

事業の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	北斎ふるさと納税への寄付金額				単 位	千円
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		1,000,000	令和7年度	目標	150,000	145,000	200,000	180,000
				実績	232,102	267,902	155,836	379,921
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	250,000	300,000	300,000	300,000	300,000	1,000,000
		実績	666,577	900,254	973,521	1,057,821	1,006,016	1,127,302
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		文化芸術関連事業等の充実を図るには、継続して寄付を募る必要があるため。目標値については、これまでの実績と管理運営費や資料収集等に要する費用見込みを基に設定。						
事業の 成果	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	北斎ふるさと納税への寄付件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		12,000	令和7年度	目標	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績	3,752	4,222	2,544	5,409
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000
		実績	8,165	10,985	11,834	12,609	11,779	10,911
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		文化芸術関連事業等を推進していく上では、墨田区内外からの継続した支援（寄付）が必要であることから、目標値については、寄付件数を支援者数と考えて設定。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和7年度は、寄付目標額を上回り、約11億2,700万円（過去最高額）の寄付を集めることができた。引き続き、北斎美術館の管理運営、資料収集、音楽事業等の文化芸術関連事業等の充実を図るため寄付募集を実施する。

課題・問題点
「コト消費」をはじめ、魅力ある返礼品開拓を継続していく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	すみだ北斎美術館管理運営費					
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）				4514
目 的	平成28年11月に開館したすみだ北斎美術館の適切な管理運営に努め、PR事業を始め、資料収集、すみだと北斎のPR及び関連事業の充実を図る。					
対 象 者	区民及び本区への来街者、北斎に関心のある層					
根拠法令 関連計画	すみだ北斎美術館の管理運営に関する条例及び同施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤職員3・墨田区文化振興財団・丹青社共同企業体	
事業内容	本区で生まれた世界的絵師・葛飾北斎を区民の誇りとして顕彰する「すみだ北斎美術館」の管理運営を行い、区民が文化・芸術にふれる機会を創出するとともに、文化・産業・観光等の地域活性化の拠点として展開する。					
経 過	開始年度	平成28年度			終了予定	
	平成27年度	指定管理者決定				
	平成28年度	建築竣工、11月22日開館				
	平成29年度	開館1年目の目標来館者数20万人達成（4月）				
	平成30年度	来館者数50万人達成（7月）				
	令和元年度	来館者数75万人達成（1月）				
	令和3年度	来館者数85万人達成、開館5周年（11月）				
	令和4年度	来館者数90万人達成（7月）				
	令和5年度	来館者数100万人達成（6月）				
	令和6年度	来館者数130万人達成（3月）				
令和7年度	来館者数150万人達成（3月）					
議会質問 の 状 況	令和7年2月 予算特別委員会 （質問）本年は開館から10周年で、特出した予算は見当たらないが、予算概要を見ると北斎美術館の管理運営費の中で10周年記念イベントの実施をするとある。具体的な取組などを伺いたい。 （答弁）10周年にかけて、10月10日には北斎関係のシンポジウム、また、開館日である11月22日には記念式典祝賀会を開催予定である。そのほか小布施町の北斎館も開館50周年という記念で同じ節目であるため、こちらとの連携企画なども協議をしている。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		241,365	254,914	264,942	221,376	228,134	218,653
A. 決算額（令和8年度は見込み）		232,573	248,673	264,678	209,302	225,014	218,653
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	94,949	154,184	164,218	120,612	127,354	117,831
一般財源		137,624	94,489	100,460	88,690	97,660	100,822
執行率（％）		96.36％	97.55％	99.9％	94.55％	98.63％	100％
B. 人コスト		4,398	4,090	4,256	4,577	4,346	
総事業費（A+B）		236,971	252,763	268,934	213,879	229,360	
予算書P（令和8年度）		P119 6-1		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	178,807	委託料	188,730	委託料	217,831
備品購入費	29,881	備品購入費	35,897	需用費	337
需用費	318	報償費	281	報償費	281
報償費	236	役務費	105	旅費	184
旅費	51	需用費	3	役務費	20
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	メディアへの掲載数（国内の映像・ラジオ・新聞）				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		60	令和7年度	目標	60	60	60	60
				実績	73	102	78	93
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	60	60	60	60	60	60
		実績	107	108	75	114	69	58
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		北斎美術館のメディア掲載数で、宣伝・広報の成果を図る指標となるため。目標値については、来館者数が安定していく中でも、高い注目度を集めるべく本数値に設定した。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	すみだ北斎美術館への来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		200,000	令和7年度	目標	80,000	321,000	220,450	171,000
				実績	177,707	262,634	177,188	157,034
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	172,000	180,000	98,000	98,000	180,000	200,000
		実績	45,070	56,978	90,466	159,112	185,379	207,654
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民をはじめ、区外及び海外からの来訪者が、どれだけ北斎の魅力を体感したかを図る指標となるため。目標値については、今後も安定して来館者数を確保するべく本数値を設定した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	インバウンドの好調に伴い、来館者数は目標を大幅に上回っており、高い注目を集めている。引き続き、魅力ある事業展開と施設の適切な管理運営に努めていく。

課題・問題点
さらなる入館者数増加を目指し、広報や企画展の充実を図るとともに、安定した館の運営を行っていく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	大江戸すみだ職人展開催経費					
主管課	文化芸術振興課				電話番号（内線）	5453
目 的	全国でも有数の「ものづくりのまち」として発展を遂げてきた墨田区において、伝統工芸分野における優れた技術・技能を区内外に広くPRし、作品の付加価値を高めていくことに寄与することを目的として展示会を開催する。					
対 象 者	区民、区への来訪者					
根拠法令 関連計画	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤職員3人	
事業内容	大江戸すみだ職人展実行委員会と区が共催のもと、実施会場である北斎美術館講座室MARUGEN100（講座室）及び区立緑町公園における職人の実演・伝統工芸品の展示のほか、訪れた方の興味を高め理解を深めてもらうため、職人や工芸品・制作品を紹介するパネルの展示、工芸体験を実施している。 産業振興課、地域教育支援課にて「伝統工芸保存会」、「パルティエール」等への支援事業が行われているため、本事業については、平成30年度から実施場所を北斎美術館に変更したうえでプロモーションを工夫し、リピーターや愛好家、外国人旅行者も含め、より多くの人に職人の技や作品を目にしてもらい、関心を持ち評価してもらう事業内容とした。					
経 過	開始年度	平成20年度			終了予定	
	本事業は、伝統工芸保存・振興事業「すみだ匠の競演」の拡充事業として、平成20年に観光課所管の「ぶらり両国まちかど展」とのタイアップ事業としてリニューアルし、江戸東京博物館にて、第一回目となる大江戸すみだ職人展を開催した。なお、従来の伝統工芸保存・振興事業としては、「すみだ匠の競演」と教育委員会生涯学習課所管の「伝統工芸展」があり、「すみだリバーサイドホール」において交互に開催していた。 開催場所については、平成20年～21年は江戸東京博物館、平成22年～23年はリバーサイドホール、平成24年～29年はすみだまち処、そして平成30年～令和3年は、外国人旅行者も含めさらに多くの方に知っていただこうと北斎美術館MARUGEN100（講座室）としている。（令和2年度は中止）					
議会質問 の 状 況	令和8年度 予算特別委員会 （委員）令和8年度予算が約400万円の増となっているが、予算を拡充した理由は何か。 （答弁）今年は芸術祭の年であり、その連動企画として、開催期間の延長、職人長屋を模したテントの設置など例年よりバージョンアップした開催を予定しているため。					
そ の 他 特記事項	令和8年度は、すみだ五彩の芸術祭の共催企画として、開催日程を拡大する（8日間の開催を予定）。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		450	950	1,150	2,260	1,500	5,600
A. 決算額（令和8年度は見込み）		450	940	1,150	2,199	1,500	5,600
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		450	940	1,150	2,199	1,500	5,600
執行率（％）		100％	98.95％	100％	97.3％	100％	100％
B. 人コスト		3,518	4,907	2,554	2,746	2,608	
総事業費（A+B）		3,968	5,847	3,704	4,945	4,108	
予算書P（令和8年度）		P116-7		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	2,199	負担金補助及び交付金	1,500	負担金補助及び交付金	5,600
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区町内会へのポスター配布数				単位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,900	令和7年度	目標	30,000	30,000	30,000	1,700
				実績	31,100	31,100	31,100	1,700
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,900
		実績	-	1,710	1,400	1,915	1,888	1,803
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		より多くの方に広く告知することが来場者数の増加につながるため。令和元年度から活動指標を「開催告知チラシの配布戸数」から「区内町会へのポスター配布数」に変更した。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	展示会場への来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,500	令和7年度	目標	8,000	8,500	8,500	2,000
				実績	8,769	6,440	3,802	2,340
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500
		実績	-	874	2,282	1,002	1,235	1,735
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		展示会場への来場者数が広くPRできたことを示す指標となるため。平成30年度から開催会場をすみだまち処からすみだ北斎美術館へ変更、令和元年度から目標値についても変更した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区内町会へのポスター配布だけでなく、メディア（新聞・テレビ）を通じた広報手段により、多くの方に関心を持っていただき、来場者数の増加に繋がった。今後は、外国人観光客への広告活動にも力を入れ、より多くの来場者数を目指す。

課題・問題点
文化芸術の体験型展示会として、一定のテーマを持たせるなど、実施方法の一層の工夫により、老若男女、区内外を問わずより幅広い方に関心を持っていただくことが課題である。 また、今後は海外からの観光客にも訴求する魅力ある展示を工夫していく必要がある。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 3

補助金名	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金		
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）	5453
根拠法令	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金要綱		
補助概要	大江戸すみだ職人展を実施するにあたり必要となるPR経費や設営費への補助		
目 的	全国でも有数の「ものづくりのまち」として発展を遂げてきた墨田区において、伝統工芸分野における優れた技術・技能を区内外に広くPRし、市場における作品の付加価値を高めていく。		
対 象	区民、区への来訪者		
基 準	区独自基準		
補助条件	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金交付要綱 第2条 区長は実行委員会が行う次の事業に要する経費を予算の範囲内において補助金として交付する。 （1） 大江戸すみだ職人展に関する運営経費 （2） 前号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業の経費		
経 過	開始年度	平成20年度	終了予定
	現在の要綱の適用以前は、「墨田区伝統手工芸作品展示会補助金交付要綱」により、当時の文化振興課と生涯学習課で1年ごとに補助金を支出していた。平成20年度から「大江戸すみだ職人展実行委員会補助金要綱」により補助している。		
議会質問の状況			
その他特記事項	令和8年度は、すみだ五彩の芸術祭の共催企画として、開催日程を拡大する（8日間の開催を予定）。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		450	950	1,150	2,260	1,500	5,600
A. 決算額（令和8年度は見込み）		450	940	1,150	2,199	1,500	5,600
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		450	940	1,150	2,199	1,500	5,600
執行率（％）		100％	98.95％	100％	97.3％	100％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	区町内会へのポスター配布数				単 位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,900	令和7年度	目標	30,000	30,000	30,000	1,700
				実績	31,100	31,100	31,100	1,700
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,900
		実績	-	1,710	1,400	1,915	1,888	1,803
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		より多くの方に広く告知することが来場者数の増加につながるため。令和元年度から活動指標を「開催告知チラシの配布戸数」から「区内町会へのポスター配布数」に変更した。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	展示会場への来場者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,500	令和7年度	目標	8,000	8,500	8,500	2,000
				実績	8,769	6,440	3,802	2,340
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500
		実績	-	874	2,282	1,002	1,235	1,735
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		展示会場への来場者数が広くPRできたことを示す指標となるため。平成30年度から開催会場をすみだまち処からすみだ北斎美術館へ変更、令和元年度から目標値についても変更した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区内町会へのポスター配布だけでなく、メディア（新聞・テレビ）を通じた広報手段により、多くの方に関心を持っていただき、来場者数の増加に繋がった。今後は、外国人観光客への広告活動にも力を入れ、より多くの来場者数を目指す。

課題・問題点
文化芸術の体験型展示会として、一定のテーマを持たせるなど、実施方法の一層の工夫により、老若男女、区内外を問わずより幅広い方に関心を持っていただくことが課題である。 また、今後は海外からの観光客にも訴求する魅力ある展示を工夫していく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	旧安田庭園再整備事業費					
主管課	公園課	電話番号（内線）	5060			
目 的	平成8年度に東京都から文化財（名勝）の指定を受けた旧安田庭園を再整備し、文化財庭園としての価値を高め、歴史・文化資源として守り継承するとともに、『すみだ』の魅力を広く発信する。					
対 象 者	すみだの歴史や日本庭園に興味を持つ区民及び来街者 うるおいややすらぎを求めて公園を利用する区民及び来街者					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン 旧安田庭園整備保存管理計画、旧安田庭園中期整備計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4	
事業内容	旧安田庭園は、平成8年度に東京都の「名勝」に指定され、区内では唯一、人工的に潮入りを再現している池泉回遊式庭園として両国地区の重要な観光拠点となっている。文化財庭園を継承し、庭園の保護とさらなる活用を図るため、平成17年度に「旧安田庭園整備保存管理計画」を策定し、平成20年度までに短期整備（外周塀の改修、潮入り再現装置の改修等）を完了した。 平成27年度には、社会動向の変化や周辺環境の変化など新たな課題に対応するため「旧安田庭園中期整備計画（平成28年3月）」を策定し、トイレの改築、園路のバリアフリー化、施設のライトアップなどを実施した。 令和2年度には中期整備計画の見直しを行い、令和3年度から令和7年度までの整備内容を定めた。 整備等には、都補助金「東京都文化財保存事業費」を活用し、実施した。					
経 過	開始年度	平成27年度			終了予定	令和7年度
	計画の策定 [平成17年度] 旧安田庭園整備保存管理計画の策定 [平成27年度] 中期整備計画の策定 [令和2年度] 中期整備計画の見直し 過去3年間の再整備実績 [令和5年度] 改修工事（植栽整備） [令和6年度] 改修工事（植栽整備） [令和7年度] 改修工事（植栽整備）					
議会質問 の 状 況	[平成30年2月予特] ライトアップに伴う開園時間の延長について [平成31年2月] 西門閉鎖時間の多言語表記について [令和6年2月予特] ナイトタイムエコノミーの観点から開園時間の延長について [令和7年9月] 池の水量に関する陳情					
そ の 他 特記事項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		7,258	8,608	5,208	5,220	5,220	7,011
A. 決算額（令和8年度は見込み）		6,592	8,354	4,986	5,082	4,916	7,011
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	4,604	4,177	2,492	2,540	2,457	3,910
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,988	4,177	2,494	2,542	2,459	3,101
執行率（％）		90.82％	97.05％	95.74％	97.36％	94.18％	100％
B. 人コスト		7,916	6,543	7,661	9,154	8,692	
総事業費（A+B）		14,508	14,897	12,647	14,236	13,608	
予算書P（令和8年度）		P208-1-6		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
工事請負費	4,917	工事請負費	4,806	役務費	5,000
報償費	165	報償費	110	委託料	1,210
				工事請負費	581
				報償費	220
概 要		概 要		概 要	
・改修工事（植栽整備）等		・改修工事（植栽整備）等		・改修工事（石段・板塀補修） ・植栽管理委託 等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	旧安田庭園中期整備基本計画に基づく整備項目数(累計)				単位	項目
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		16	令和7年度	目標	2	9	12	13
				実績	2	9	12	13
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	13	13	14	15	15	16
		実績	13	13	14	14	14	14
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		適正かつ円滑な保存管理を段階的に行い、令和7年度までに中期整備計画に基づく整備を終わらせることを目標とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「伝統文化が保護・継承されている」という区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		80	令和7年度	目標	71.6	-	-	-
				実績	71.6	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	77	-	-	-	-	80
		実績	73.7	-	-	-	-	78.9
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		文化財庭園としての整備を行った結果が、歴史・文化の保護・継承を感じる区民の割合の増加に繋がる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	計画に基づき、庭園を改修することで、文化財庭園としての価値を高め、区内観光に資することができる。 整備保存管理計画に基づく整備・活用を進め、文化財庭園としての価値を次世代に継承するため、管理手法及び利用促進について検討を行っていく。

課題・問題点
旧安田庭園の魅力を、より多くの人々に知ってもらうため、観光課や他部署が行うイベント等との連携を図る必要がある。 中期整備計画の最終年度である令和7年度末までに未実施となった整備項目について、引き続き整備を進めていく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	文化財(埋蔵文化財含む)調査、普及、啓発事業					
主管課	地域教育支援課				電話番号(内線)	5157
目 的	文化財の調査保護を通じて、墨田区の歴史風土・文化への理解・啓発を促す。					
対 象 者	区登録文化財の保護・保存にあたっている方及び区内の歴史や文化財への普及・啓発を図る対象である区民・観光客					
根拠法令 関連計画	文化財保護法、墨田区文化財保護条例及び施行規則、墨田区文化財保護奨励金交付要綱、墨田区埋蔵文化財取扱要綱					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3、会計年度任用職員6	
事業内容	地域の文化遺産を地域全体で保存・活用していくため、すみだの歴史や文化に区民がふれる機会を増やし、郷土に対する理解・愛着を深め、郷土愛の醸成や文化の継承を図っている。そのための事業として、文化財の保護と活用及び伝統工芸の保存普及等を行っている。					
経 過	開始年度	昭和52年度			終了予定	
	昭和52年9月1日 墨田区文化財保護調査員設置要綱を設置、区内文化財の全体調査を開始 昭和57年4月1日 墨田区文化財保護条例及び施行規則を設置、区内文化財の登録を開始 昭和58年1月10日 墨田区文化財保護奨励金交付要綱を設置、区登録(指定)文化財所有者への交付を開始 平成11年12月28日 墨田区埋蔵文化財取扱要綱を設置、発掘調査の取扱い等を整備					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	・例年10～11月に東京都主催「東京文化財ウィーク」に参加し、区内史跡めぐりや伝統工芸体験講座を実施している。 ・平成26年度から、すみだ地域資料データベースを開設し、Web公開している。 ・令和2年度からひきふね図書館で区内で出土した埋蔵文化財の常設展示と企画展示を実施している。					

予算・決算額推移(単位:千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額(令和8年度は当初予算)		38,547	47,783	51,384	71,039	89,542	67,736
A. 決算額(令和8年度は見込み)		36,175	45,680	48,568	57,641	87,987	67,736
財 源	国	7,222	10,339	9,502	10,073	11,337	12,603
	都	2,908	4,483	4,054	4,011	4,359	4,514
	その他	0	9	9	17	27	29
一般財源		26,045	30,849	35,003	43,540	72,264	650,590
執行率(%)		93.85%	95.6%	94.52%	81.14%	98.26%	100%
B. 人コスト		17,592	16,473	17,864	18,578	17,540	
総事業費(A+B)		53,767	62,153	66,432	76,219	105,527	
予算書P(令和8年度)		P234-13		執行実績報告書P(令和7年度)			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	26,953	委託料	42,786	委託料	24,540
報酬	18,744	報酬	20,333	報酬	20,751
職員手当等	7,102	使用料及び賃借料	10,417	使用料及び賃借料	10,497
需用費	1,687	職員手当等	7,312	職員手当等	7,896
負担金補助及び交付金	1,480	負担金補助及び交付金	3,543	負担金補助及び交付金	1,600
概 要		概 要		概 要	
- 文化財調査及び試掘調査の業務委託 - 審議会委員及び指導員の報酬 - 職員手当等 - 調査用品等需用費 - 文化財保護奨励金		- 文化財調査、試掘調査、埋蔵文化財保管庫引越の業務委託 - 審議会委員及び指導員の報酬、職員手当等 - 埋蔵文化財保管庫借上 - 文化財保護奨励金、指定文化財補助金		- 文化財調査、試掘調査 - 審議会委員及び指導員の報酬、職員手当等 - 埋蔵文化財保管庫借上 - 文化財保護奨励金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	史跡説明板設置数				単 位	基
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		132		目標	114	116	118	120
				実績	114	115	115	117
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	123	126	126	128	130	132
		実績	117	118	118	121	122	122
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		史跡説明板は、区の歴史や文化財を区民に知っていただくために非常に有用である。経年劣化による取替え、英文の追加等、新設以外にも取り組んでいることを踏まえ、目標値とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	区登録文化財数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		166		目標	142	145	148	151
				実績	142	144	147	148
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	154	158	154	158	162	166
		実績	149	150	153	155	157	158
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		文化財を登録・指定するために、積極的に調査を行い文化財を保護している。調査に時間を要することを踏まえた目標値とした。令和4年度に登録文化財候補や年間登録数を見直した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	文化財登録のための文化財調査及び文化財保護審議会の実施が適切に行われており、文化財の普及のための史跡説明板の設置や、文化財に関する刊行物の発行、史跡めぐり等も行っている。文化財の保護・管理は、文化財保護法により地方公共団体の任務とされており、現状維持で継続する。

課題・問題点
文化財を保護するためには、それを調査し、その価値を認め、文化財登録して保護していく必要があり、効率性を求めることが難しい。その価値を区民に知っていただくことが保護につながるため、史跡説明板や刊行物等で文化財の周知を行っているが、今後も様々な機会を捉え、文化財の普及・啓発を図っていく必要がある。また、発掘調査等は事業者の負担が大きいため、事業者の理解と協力が不可欠である。今後も、事業者に十分な説明を行い理解を求めて円滑に実施していく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	すみだ郷土文化資料館事業					
主管課	すみだ郷土文化資料館				電話番号（内線）	5619-7034
目 的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。					
対 象 者	区民ほか、歴史や伝統文化に関心のある方					
根拠法令 関連計画	博物館法、すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1・会計年度任用4	
事業内容	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るとともに、広く教育・学術及び文化の発展に資するため、資料の収集・保存及び展示に関する事業などを行う。					
経 過	開始年度	平成10年度			終了予定	
	平成10年4月12日 開館 20年度：開館10周年記念特別展を実施 24年度：東京スカイツリー開業記念年間特別展示を実施 26年度：シリーズ探訪向島をテーマに企画展を実施 26年度：終戦70年平和祈念展示を実施 29年度：区制70年記念展示を実施 30年度：開館20周年記念特別展を実施 令和5年度：開館25周年記念展示を実施					
議会質問 の 状 況	令和3年第4回定例会子ども文教委員会 入館者増へ向けた取組について、関東大震災の展示について 令和4年第1回定例会本会議 出張展示の実施について 令和4年決算特別委員会 資料館に図書館機能を付加することについて 令和5年決算特別委員会 学校連携事業の内容と周知について 令和6年決算特別委員会 終戦80年の企画について、館のプロモーションについて 令和6年予算特別委員会 東京大空襲80年に関する展示について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		32,285	29,228	36,417	40,855	46,883	48,849
A. 決算額（令和8年度は見込み）		28,616	26,689	32,611	38,792	43,524	48,849
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	311	360	766	977	689	3,148
一般財源		28,305	26,329	31,845	37,815	42,835	48,849
執行率（％）		88.64％	91.31％	89.55％	94.95％	92.84％	100％
B. 人コスト		14,074	13,178	14,179	14,826	14,011	
総事業費（A+B）		42,690	39,867	46,790	53,618	57,535	
予算書P（令和8年度）		P237-2		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	17,664	報酬	17,833	報酬	18,818
職員手当等	7,261	職員手当等	7,623	職員手当等	7,640
委託料	4,877	需用費	5,300	需用費	6,702
需用費	3,795	委託料	5,032	委託料	6,600
備品購入費	2,174	役務費	2,946	役務費	3,838
概 要		概 要		概 要	
・報酬及び手当（学芸員）17,004千円 ・報酬及び手当（事務）7,921千円 ・資料整備費（図書、資料購入）2,385千円 ・展示関係経費等（パネル作成委託、美術輸送等）6,177千円		・報酬及び手当（学芸員）17,138千円 ・報酬及び手当（事務）8,317千円 ・資料整備費（図書、資料購入）2,441千円 ・展示関係経費等（パネル作成委託、美術輸送等）6,599千円		・会計年度任用職員勤勉手当支給による増 ・すみだ五彩の芸術祭関連企画展等の実施による需用費、委託料、役務費の増	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	講座・講演会等参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,600	令和7年度	目標	2,300	2,300	2,300	2,300
				実績	3,652	3,603	3,674	1,776
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,600	1,000	500	2,000	2,300	2,600
		実績	323	286	867	2,075	2,202	2,049
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	講座・講演会等参加者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値は例年実施する催しの回数と参加者数に基づき算出している。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	入館者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		17,000	令和7年度	目標	16,000	16,000	16,000	16,000
				実績	13,671	14,155	14,270	11,966
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		17,000	10,000	5,000	14,000	15,000	17,000	
実績	6,365	7,457	3,763	13,763	14,821	16,869		
指標の選定理由及び目標値の理由								
入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値は当該年度の展示事業等のほか、感染症や修繕による休館期間を踏まえ設定。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	郷土の歴史や文化を広く知ってもらう事業として、区が取り組む必要性は高い。特に本区ならではのテーマによる企画展、小中学生への教育普及事業に力を入れてきた結果、入館者数は増加傾向にあるため、引き続き推進していく。今後も魅力ある事業を企画・発信し、他部署とも連携して多くの人々に理解を深めていただく。

課題・問題点
展示等の事業内容を工夫するとともに、誘客に向けて発信力を強化し、より多くの人々にすみだの歴史や文化に親しみ、理解してもらうことが課題である。また、学校教育との連携を深め、ICT機器の活用など実施方法を工夫し子どもたちの興味・関心を喚起することに加え、入館者のニーズに応え、展示室のリニューアルも含めた事業の新展開を図っていく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	すみだ郷土文化資料館管理運営					
主管課	すみだ郷土文化資料館	電話番号（内線）	5619-7034			
目 的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。					
対 象 者	区民ほか、歴史や伝統文化等に関心のある方					
根拠法令 関連計画	すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1・会計年度任用1、委託先：受付、清掃ほか	
事業内容	すみだ郷土文化資料館の維持管理及び施設運営					
経 過	開始年度	平成10年度			終了予定	
	平成10年4月12日 開館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日（土）～5月31日（日）臨時休館 令和3年4月28日（水）～5月31日（月）臨時休館 大規模修繕工事のため、令和4年9月5日（月）～令和5年3月28日（火）臨時休館					
議会質問 の 状 況	令和2年決算特別委員会 施設の老朽化に対する対応について 令和3年決算特別委員会 施設の修繕予定と今後の展望について 令和5年決算特別委員会 大規模修繕工事の内容について					
そ の 他 特記事項	令和4年度 令和4年9月5日（月）～令和5年3月28日（火）臨時休館し 大規模修繕工事（空調設備、電気設備、外壁・屋上等の補修）を実施					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		21,080	296,883	23,314	22,470	20,290	20,712
A. 決算額（令和8年度は見込み）		19,033	263,131	18,643	20,667	19,164	20,712
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	706	360	766	977	794	682
一般財源		18,327	262,771	17,877	19,690	18,370	20,030
執行率（％）		90.29％	88.63％	79.96％	91.98％	94.45％	100％
B. 人コスト		9,676	9,020	9,503	10,114	9,587	
総事業費（A+B）		28,709	272,151	28,146	30,781	28,751	
予算書P（令和8年度）		P237-1		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	12,117	委託料	11,305	委託料	11,568
需用費	4,076	需用費	4,283	需用費	5,496
役務費	2,550	役務費	2,681	工事請負費	4,433
使用料及び賃借料	1,469	使用料及び賃借料	897	役務費	2,737
工事請負費	353			使用料及び賃借料	911
概 要		概 要		概 要	
・需用費（光熱水費）3,843千円ほか ・役務費（清掃委託）2,310千円ほか ・委託料（受付、設備保守等）12,117千円 ・使用料及び賃借料（機器リース）1,469千円		・需用費（光熱水費）3,878千円ほか ・役務費（清掃委託）2,420千円ほか ・委託料（受付、設備保守等）11,305千円 ・工事請負費は包括管理業務委託に移行したことにより未計上		・工事請負費は特別収蔵庫空調機整備工事。 1階トイレ洋式化工事	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	講座・講演会等参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,600	令和7年度	目標	2,300	2,300	2,300	2,300
				実績	3,652	3,603	3,674	1,776
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,600	1,000	500	2,000	2,300	2,600
		実績	323	286	867	2,075	2,202	2,049
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		講座・講演会等参加者数に応じ、墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値は例年実施する催しの回数と参加者数に基づき算出している。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	入館者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		17,000	令和7年度	目標	16,000	16,000	16,000	16,000
				実績	13,671	14,155	14,270	11,966
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	17,000	10,000	5,000	14,000	15,000	17,000
		実績	6,365	7,457	3,763	13,763	14,821	16,869
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。目標値は当該年度の展示等事業のほか、感染症や修繕による休館期間も踏まえ設定。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	郷土の歴史や文化を区内外に広く知ってもらう事業として区が取り組む必要性は高い。特に、すみだならではのテーマを扱った魅力ある企画展、小中学生への教育普及事業に力を入れてきた結果、入館者数は増加傾向にあるため、引き続きこれらを推進していく。受付業務・清掃及び施設設備保守等の維持管理にかかる業務の委託化により、経費節減に努めている。

課題・問題点
令和4年度の大規模修繕工事を終え、懸案であった空調や照明等の電気設備などを更新しエネルギー効率も改善したが、展示ケースや収蔵庫の劣化など未更新の部分の課題が残っており、引き続き展示・収蔵環境の改善を図っていく必要がある。博物館として重要な役割である資料の保存・継承と活用の両立のほか、さらなる来館者増へ向けて館の魅力向上のため、ハード面の整備を進めていく。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる		
事 業 名	立花大正民家園維持管理費		
主管課	すみだ郷土文化資料館	電話番号（内線）	5619-7034
目 的	墨田区立公園（立花大正民家園）内にある旧小山家住宅を、区の指定有形文化財として保存するとともに、人形展などの事業や建物内居室の有料貸出を通じて活用する。		
対 象 者	区民ほか、歴史や文化財、伝統文化等に関心のある方		
根拠法令 関連計画	墨田区文化財保護条例、都市公園法、墨田区公園条例、同施行規則		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤1・会計年度任用1、委託先：シルバー人材センター
事業内容	●墨田区立立花大正民家園の運営及び維持管理 ●立花大正民家園旧小山家住宅に係る使用の承認、取消し及び変更の承認並びに使用料の減額免除及び返還の承認並びに維持管理 ●立花大正民家園旧小山家住宅での展示事業の実施		
経 過	開始年度	平成11年度	終了予定
	平成10年度 建物の寄贈を受ける 平成11年度 文化財登録（平成11年2月）開園（平成11年7月1日） 平成16年度 生涯学習課文化財担当より移管 平成22～23年度 東日本大震災の発生に伴い平成23年3月12日から12月31日まで休園 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日（土）～5月31日（日）及び 令和3年4月27日（火）～5月31日（月）臨時休園 園外周のブロック塀改修工事のため、令和5年11月20日（月）～6年1月19日（金）臨時休園 屋根及び雨どい補修工事 令和8年1月～3月実施		
議会質問 の 状 況	令和2年予算特別委員会 民家園の利用促進について 令和3年決算特別委員会 民家園の利用促進について		
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		5,965	5,965	6,464	6,819	8,957	8,873
A. 決算額（令和8年度は見込み）		5,511	5,657	6,113	6,258	8,552	8,873
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	33	24	15	21	32	35
一般財源		5,478	5,633	6,098	6,237	8,520	8,838
執行率（％）		92.39％	94.84％	94.57％	91.77％	95.48％	100％
B. 人コスト		2,639	2,477	2,694	2,791	8,718	
総事業費（A+B）		8,150	8,134	8,807	9,049	17,270	
予算書P（令和8年度）		P234-14		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	3,415	委託料	3,480	委託料	4,415
役務費	2,463	役務費	2,586	役務費	3,076
工事請負費	203	工事請負費	2,287	工事請負費	1,130
需用費	168	需用費	191	需用費	241
使用料及び賃借料	10	使用料及び賃借料	11	使用料及び賃借料	11
概 要		概 要		概 要	
・ 需用費のうち光熱水費 124千円 ・ 役務費（芝刈と除草） 462千円 （樹木剪定） 1,864千円（執行委任） ・ 委託料（管理業務委託） 2,676千円ほか ・ 工事請負費（戸板補修） 139千円ほか		・ 役務費（芝刈と除草） 484千円 （樹木剪定） 1,991千円（執行委任） ・ 委託料（管理業務委託） 2,767千円ほか ・ 工事請負費（屋根及び雨どい補修、面戸板 補修） 2,287千円		・ 役務費（芝刈と除草） 544千円 （樹木剪定） 2,310千円（執行委任） ・ 委託料の増は管理業務委託の件費増と白アリ防除委託の実施 ・ 工事請負費（照明LED化と分電盤取替工事） 715千円ほか維持補修工事分	

事業の成果	手段に対する指標（活動指標）	指 標	住宅内の特別展示回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		2	令和7年度	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	2	2	2	2	2
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		施設への関心を高め入園者数を増加させるために有効な展示（雛人形展と五月人形展）回数を指標とした。施設に負荷をかけず文化財として保護していくために実施回数は現状維持が適切である。						
		指 標	入園者数				単 位	人
	目的に対する指標（成果指標）	最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		2,000	令和7年度	目標	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績	2,088	1,911	1,822	1,429
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	1,521	1,658	1,785	2,047	2,370	2,524
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		入園者数に応じ、区の指定有形文化財である旧小山家住宅に対する関心度を確認できる。来園者数が増加傾向にあり、令和7年度は前年同様に目標値を上回り、過去10年で最多となった。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	住宅内で実施する雛人形展などへの関心から、来園者数は3年連続で目標値を超え、過去10年で最多となった。こうした季節の行事開催をはじめ、大正時代の建物であることを強みとした取組を観光部署とも連携して展開するなど魅力発信に努め、新たな客層を開拓していく。

課題・問題点
旧小山家住宅内を無料で一般公開する一方、公開による見学者が支障をきたさない条件下で住宅内を有料で貸出している。築100年を超える建物のため、文化財保護審議会委員の助言を受け、劣化・老朽化した箇所を調査し修繕していきながら運営する必要があり、耐震補強も含め保存と活用の両立を図っていく必要がある。